



奈良県知事

## 荒井 正吾

5月1日には、新しく奈良県総合医療センターが移転開院します。奈良県の救急医療を守る北和地域の砦です。屋上にドクターヘリの離発着ヘリポートも備えており、南部、東部を含む遠くからの救急搬送が可能です。

救急医療の充実には、いつでも、どのような容態でも必ず受け入れてくれる病院が絶対必要です。奈良県総合医療センターでは24時間、365日救急患者を受け入れるER型救命治療室の運用を平成27年から始めており、その運用実績は急速に上昇しています。平成28年4月に開院した南奈良総合医療センターと県立医大附属病院の救急患者受入体制も整備され、3病院の救急患者受入件数は驚くほど増加してきました。

医師、看護師の方々の日夜を問わない奮闘努力には頭が下がるばかりですが、県民の皆様の命を守るため、救急医療体制の更なる充実に全力を尽くしていきたいと思っています。

## 人権コーナー

毎月11日は人権を確かめあう日



ひかりちゃん ていいち先生

### わからない不安を想像する

海外旅行中、現地の生活に苦労しました。それは、私とその国の言葉や習慣を十分理解できていなかったからです。例えば、食事では料理名が読めずに戸惑い、見慣れぬ食器と料理を前に、自分の食事の仕方が相手にどう映っているのか心配になる時がありました。言葉や習慣が「わからない」ことが気持ちを「不安」にさせ、行動を戻込みさせていました。

日本に来た外国人観光客も私と同様に、不安な気持ちなのではないでしょうか。食事以外でも、道に迷ったときに周りの人に話しかけることができず戸惑うこともあるでしょう。

また、県内で生活している外国人も、言葉が通じないことによる地域社会での孤立や、ゴミ出しなど生活に関する習慣の違いといった、さまざまな不安に直面するのではないのでしょうか。

言葉や習慣は全ての人に共通するものではありません。

わからない不安を想像し、親切に接することを心がけていきたいですね。

日本政府観光局によると、訪日外国人客数は、平成29年11月時点で前年の累計人数2404万人を超え、奈良県にも多数の外国人観光客が来訪しています。また、県内には約1万人の外国人が生活しています。

今月の  
ポスター



天理市立樺本小学校 5年  
しょうばら あかね  
庄原 明音さん



大和高田市立片塩中学校 2年  
いのうえ まさき  
井上 正貴さん

今月の  
標語

違う色 集まるからこそ  
虹になる

県立奈良高等学校 2年  
やまがみ さえ  
山上 紗英さん

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

## クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

**「下北山村  
特産品セット」を  
5名にプレゼント!**

(P19で紹介)



締め切りは3月31日(消印有効)

○にあてはまる数字を教えてください。

**Q** 新たに機能を強化した奈良県総合医療センターが移転開院するのはいつ?

**A** ○月1日

ヒントは6ページ  
と8ページで

1月号の答えは「イン」でした。応募総数1739件。

ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。

☎www.pref.nara.jp/30222.htmからも3/1以降応募できます。

※個人情報、はプレゼントの発送以外には使用いたしません。